

経営比較分析表

福島県 西郷村

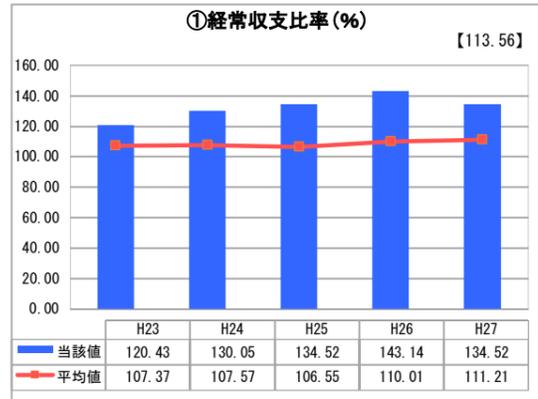
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.24	96.38	2,592

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,086	192.06	104.58
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,265	66.20	291.01

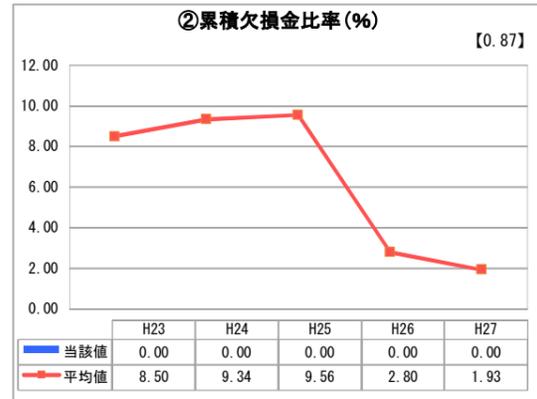
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

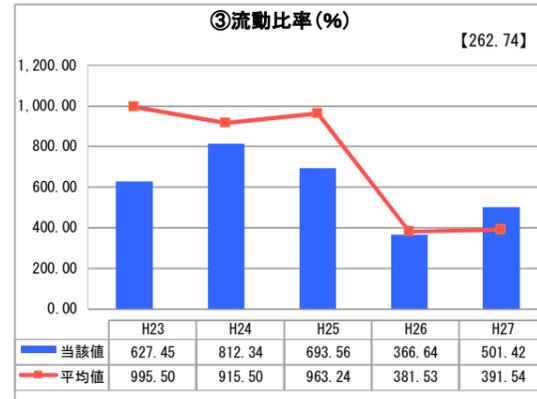
1. 経営の健全性・効率性



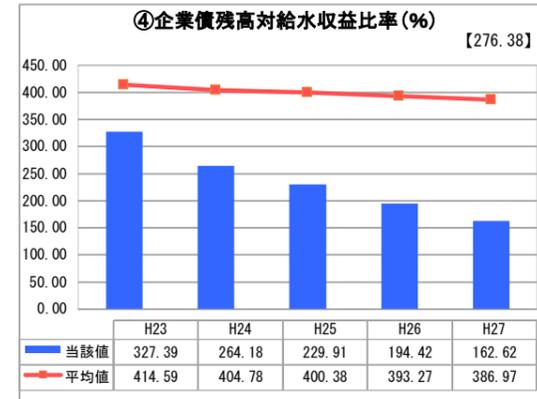
「経常損益」



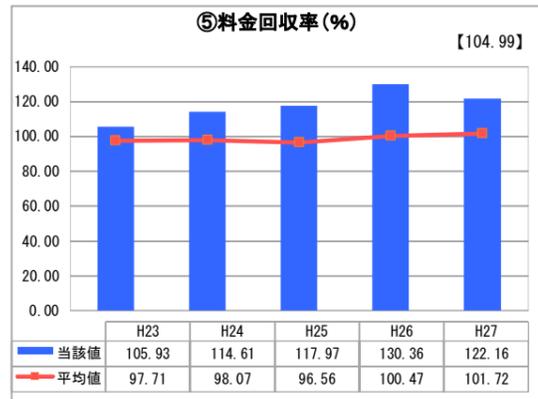
「累積欠損」



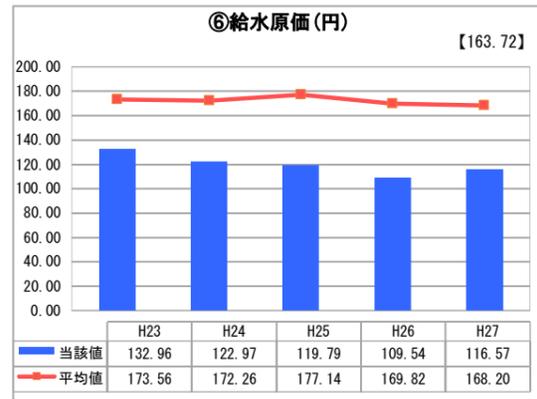
「支払能力」



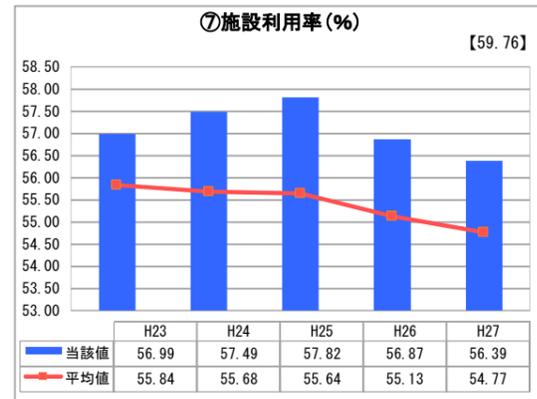
「債務残高」



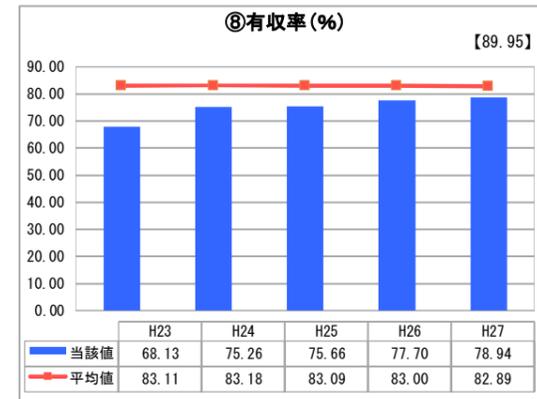
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

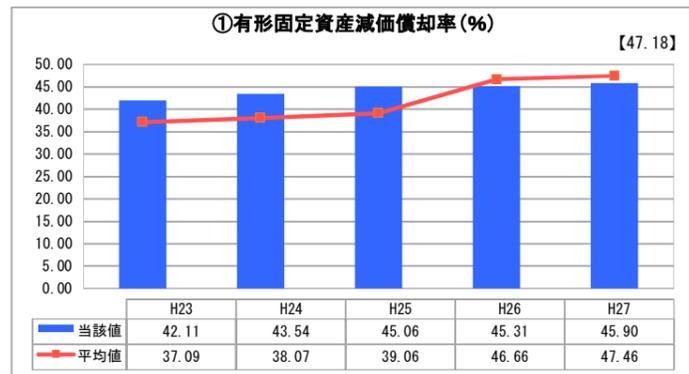


「施設の効率性」

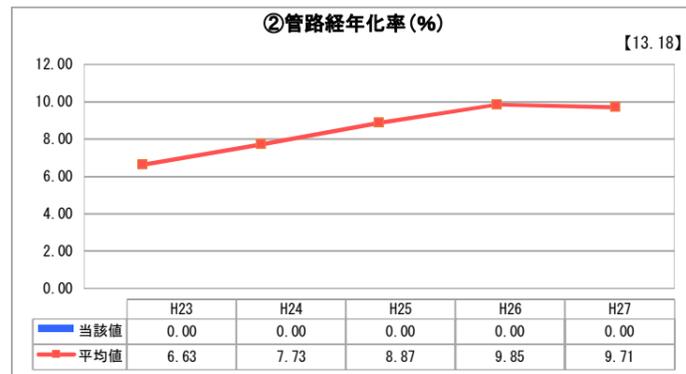


「供給した配水量の効率性」

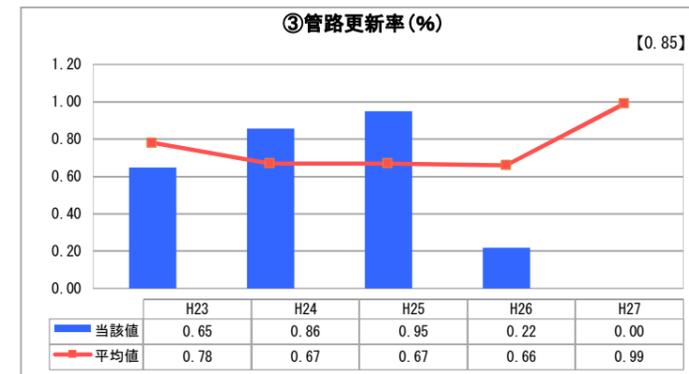
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

西郷村水道事業では、施設の利用率が減少傾向にあるが、この要因として有収率の向上により、施設の供給量に余裕ができたことが挙げられる。しかしながら、なおも有収率は全国平均を下回っており、漏水の早期発見等の対策をしていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

合計4件の工事が行われ給水区域の拡大、施設の耐震化及び更新と水道の安定供給が図られた。(昨年度は6件)
経年管は残存していないが、更新の必要な管路を選定し老朽化対策を進めていかなければならない。

全体総括

西郷村では適正な料金体系を想定しつつ、村民のための安定供給に務めているが、低い有収率に高めの施設利用率となっているなど、改善点が見られるため、管路の更新と合わせ漏水調査を実施し、無駄な損失を抑えることで経営の効率性を高めなければならない。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。